MITSUBISHI

9901R871HE5001

三菱給気用パイプ用ファン

形 名

〈トイレ・洗面所用〉

V-08PSQK3(電源プラグ付)

〈浴室・トイレ・洗面所用〉

V-08PPQK3(電源コード直付け)

V-12PPQK3(電源コード直付け)

取付工事・取扱説明書

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

■接続パイプは市販品の塩化ビニル管08タイプ(4番管、呼び径φ100)、12タイプ(6番管、呼び径φ150)・鋼板管08タイプ(内径φ100)、12タイプ(内径φ150)をご用意ください。
■直接屋外から給気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材の屋外フードを取付けてください。また虫侵入防止のため防虫網付のフードをおすすめします。
■この製品の運転・停止にはシステム部材または市販品の埋込スイッチが必要です。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

■ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同封の「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」とともに保管してください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取付け・取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取付・取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は、次のとおりになっています。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	風呂・シャワー室での使用禁止
接触禁止	指示に従い必ず行う	アース線接続	

⚠警告

取付時

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける
  (漏電した場合に発火することがあります)
- 浴室など湿気の多いところでは必ずアース工事を実施する
  (故障や漏電のときに感電する恐れがあります)〈V-08PPQK3、12PPQK3のみ〉

使用時

- ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしない。また電動工具の操作をしない
  (爆発や引火の恐れがあります)
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない
  (ショートや感電の恐れがあります)
- 改造や必要以上の分解をはしない
  (火災・感電・けがの原因となります)
- 交流100Vを使用する
  (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

使用時

- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く。また、がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む
  (火災や感電の恐れがあります)
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
  (感電やけがをすることがあります)

⚠注意

取付時

- 直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない
  (火災の恐れがあります)
- コントロールスイッチを浴室内に取付けない
  (感電の恐れがあります)
- 浴室内など湿気の多い場所には取付けない
  (感電および故障の原因となります)〈V-08PSQK3のみ〉
- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
  (落下によりけがをすることがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
  (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する
  (感電の恐れがあります)

使用時 取付時

- 取付け・お手入れの際は手袋を着用する
  (着用しないとけがをすることがあります)
- 羽根や部品の取付けは確実に行う
  (落下によりけがをすることがあります)

使用時

- 本体に異常な振動が発生した場合使用しない
  (本体・部品の落下によりけがをすることがあります)
- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない
  (けがの恐れがあります)
- 電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く(感電やショートして発火することがあります)
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る
  (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

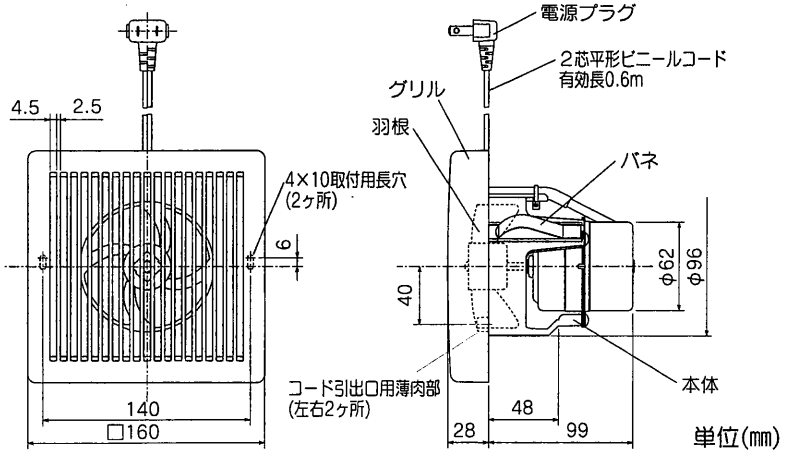
取付け前のお願い

- 高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。
  （故障の原因となります）
- 浴室で使用する場合、グリルから水滴が落ちても不快にならない位置に取付けてください。
- 燃焼排ガスなどを吸い込む恐れのあるところには取付けないでください。
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- システム部材(ウェザーカバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。
  （壁厚により取付けられないものがあります）
- 虫侵入防止のため防虫網付のフードを取付けることをおすすめします。
  （防虫網の点検ができる場所に取付けてください）
- 風雨の影響を受ける場所では、耐外風高性能フードを取付けることをおすすめします。
- 効果的な換気を行うため排気口を設けてください。浴室・トイレで使用される場合は排気用換気扇と連動させることをおすすめします。

各部のなまえと外形寸法図

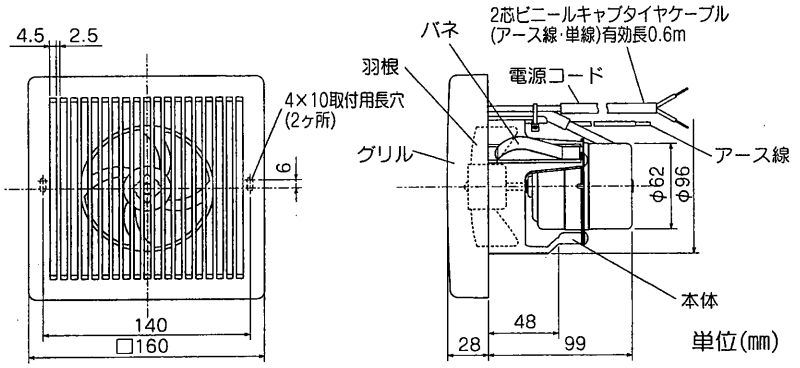
V-08PSQK3

付属部品
木ネジ…2本



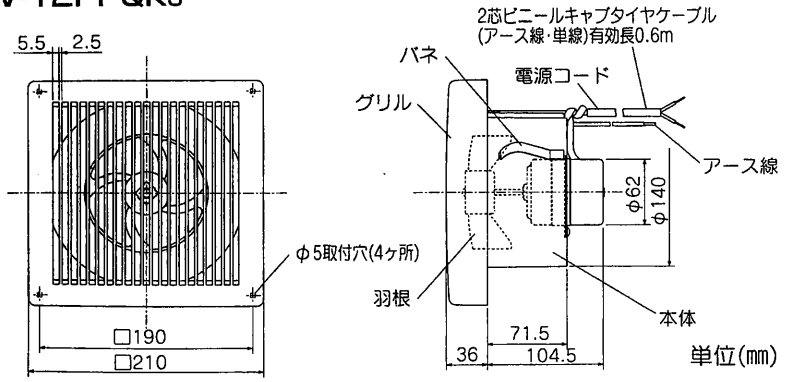
V-08PPQK3

付属部品
木ネジ…2本



V-12PPQK3

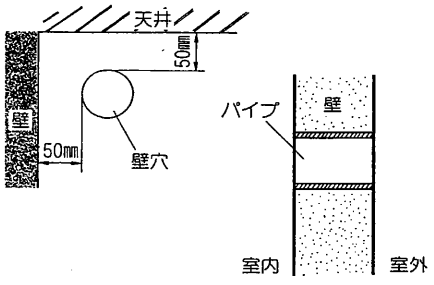
付属部品
木ネジ…4本



取付方法

取付け前の準備

壁取付けの場合



壁穴へのパイプの固定

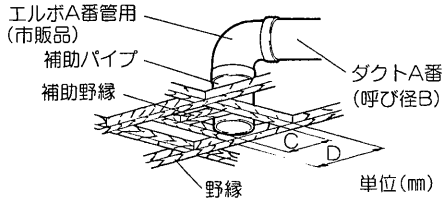
1．壁穴に応じてパイプの長さを決める。
- パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および鋼板管があります。必要に応じたパイプの長さを決めてください。

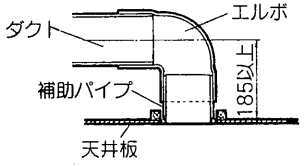
2．壁穴にパイプを差し込み確実に固定する。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。

取付方法 つづき

取付け前の準備つづき

天井取付けの場合





野縁工事とダクト配管

1．左図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。

形　名	A	B	C	D
08タイプ	4	φ100	□120	□180
12タイプ	6	φ150	□170	□230

2．ダクトの中心から天井板まで185㎜以上離して天井板をはる。
3．エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。
4．補助パイプは天井面から室内側に出ないようにしてください。

電気工事

●システム部材のコントロールスイッチを取付ける場合はシステム部材に同梱の取付説明書に従ってください。
●市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
●システム部材の防火ダンパーを使用される場合、ダンパーが閉じるとき電源線をはさまないように配線してください。
●屋外に電源コンセントを設ける場合は、雨の当たらないところに設けてください。

⚠警告
- **交流100Vを使用する**
  (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- **浴室など湿気の多いところでは必ずアース工事を実施する**
  (故障や漏電のときに感電する恐れがあります)

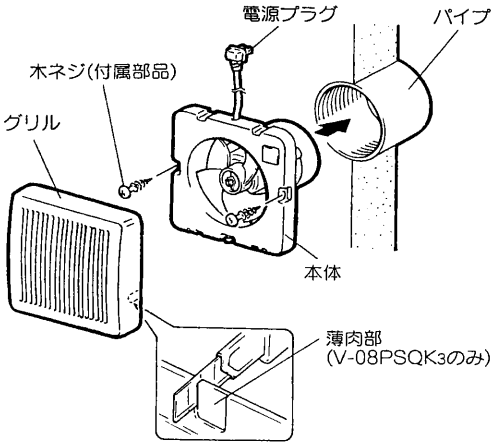
⚠注意
- **配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
  (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)
- **電気工事は必ず電気工事店に依頼する**
  (感電の恐れがあります)

電源プラグ付タイプの場合

●内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇近傍に設けてください。

本体の取付け(壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

※図はV－08PSQK3を示す



1．グリルを本体からはずす。
2．電源コード直付けタイプは結線をする。
  ●2芯ビニルキャブタイヤケーブルを単相100V電源に接続し、絶縁処理をします。
  ●アース線を接続します。
3．本体の上・下を確認してパイプに差し込む。
4．付属の木ねじ2本で固定する。
5．グリルを本体に取付ける。
  ●グリルの方向を間違えないようにしてください。
6．電源プラグ付タイプは電源プラグを専用のコンセント(単相100V)に差し込む。電源コードを左右から出す場合はグリルの薄肉部を切り欠く。
7．以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

使用方法

システム部材または市販の埋込スイッチで操作してください。

メモ
- **冬期、結露によって本体から結露水が滴下することがあります。**
- **外気の汚れがひどい場合には壁面に汚れが付着することがあります。**

お手入れのしかた

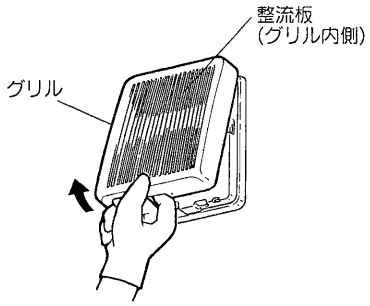
グリルにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音の発生の原因となります。
約3か月に1度を目安として清掃してください。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグを抜く
(感電やけがをすることがあります)

⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
(けがをすることがあります)

お手入れのしかた つづき

グリルのはずしかた



グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

清掃のしかた

- グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
- 本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯を浸した布で汚れをふきとった後、洗剤が残らないようによくふく。

お願い

- **グリルの清掃時、整流板(グリル内側)に力を加えないでください。**
- **お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。**
  (シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等研磨材入の洗剤)

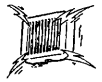
グリルの取付けとお手入れ後の確認

1.グリルを元通りに取付ける
- **羽根を取りはずした場合は、羽根の向きを間違えないよう取付けてください。**

2.取付け後、次の確認をする。
(1)グリルが確実に取付けられていますか。
(2)電源コードに傷・いたみはありませんか。
(3)異常な音が出ていませんか。
(必ず運転をして確認してください)

修理を依頼される前に

このような症状があれば点検してください。

スイッチを入れても羽根が回転しない	運転中に異常音や振動がある	グリルがはずれかけている(傾いている)
		
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？分電盤のブレーカーが切れていませんか？	本体・グリルが確実に取付けられていますか？	グリルが確実に本体に取付けられていますか？

点検・処置をしても直らないときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。
費用については販売店とご相談ください。

アフターサービス

三菱パイプ用ファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間
換気扇の補修用**性能部品**の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

(電圧100V)

形　名	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	質量(kg)
V-08PSQK3	50	2.3	40	31	0.73
	60	2.4	45	33	
V-08PPQK3	50	2.8	50	34	0.79
	60	3.0	55	38	
V-12PPQK3	50	4.4	125	39	1.10
	60	5.2	130	41	

※特性はJIS　C　9603に基づく

愛情点検

☆ 長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- こげ臭いにおいがする。

▶ **使用中止**　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

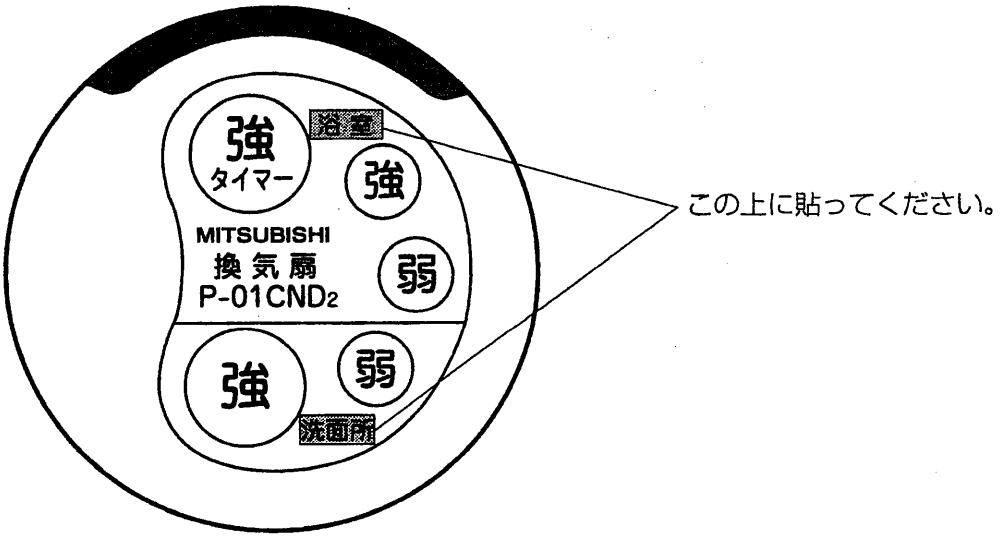
お客さまメモ		
サービスを依頼されるとき便利です。	形　名	
	お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名 (住　所) (電話番号)	(　　)

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料にISO規程の略号を使用)

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508−8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573−66−2111

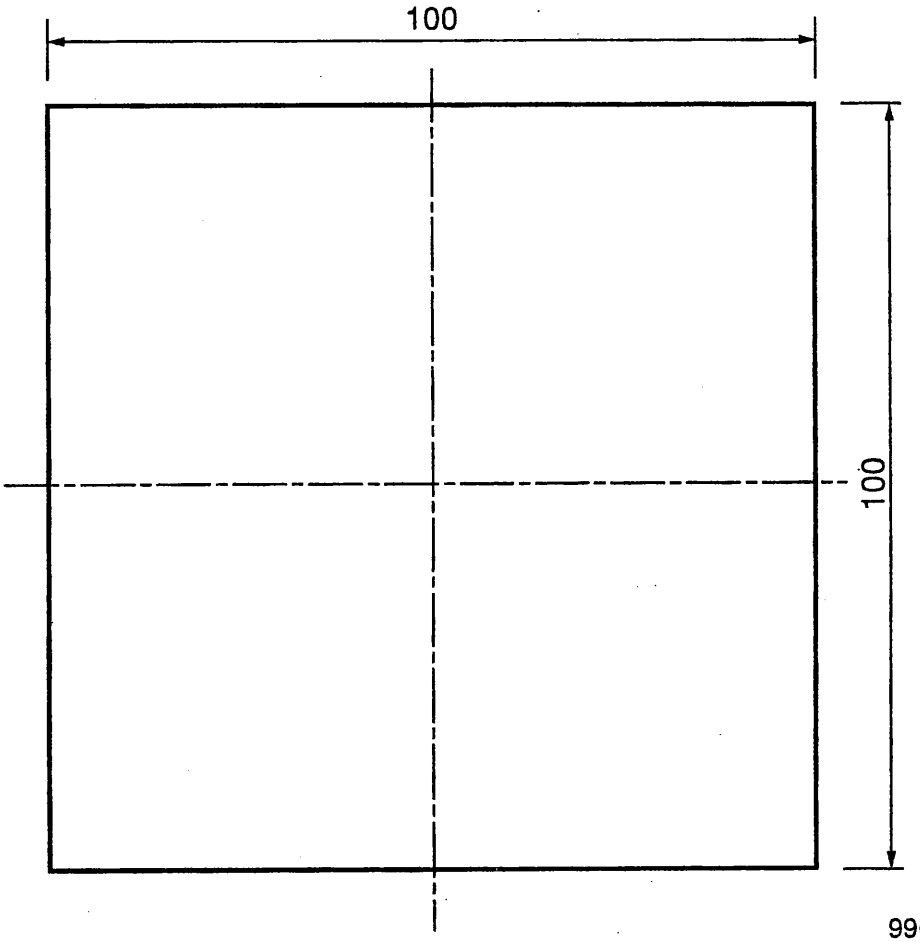
リモコンシールの使い方

●浴室または洗面所取付用のパイプ用ファンが他の部屋に取付けられた場合、リモコンの透明保護シートをはがし、同梱のシールを下図に示す部分に貼ってください。



コントローラ本体取付用　角穴型紙

単位(mm)



9903MR871HD7102